

(様式第1号)

研究No. (記載不要)	20-文学-7
-----------------	---------

平成20年度配分 研究成果の概要

研究名	近代中国における日本の植民地支配に関する社会史的研究				
配分を受けた 特別研究費	特別研究費800千円				
研究者氏名 (代表者)	学部名 (研究科名)	学科名	職	氏名	共同研究の 場合の分担
	文化政策学 部	国際文化学科	准教授	孫江	
共同 研究 者					
発表の方法	1 著作・論文(別紙参照)				

	<p>2 学会等での発表</p> <p>①Continuity and Discontinuity: The Narratives of Huang Ti in the History Textbooks During the Early 20th Century, CRITICAL HAN STUDIES CONFERENCE & WORKSHOP, Stanford University, Stanford Humanities Center, April 25-27, 2008.</p> <p>②「中国宗教の真正さ——『近代中国における宗教概念の系譜』序論」、「東アジアにおける近代知の往還」(本栖寺、2008年8月4-6日)。</p> <p>③「在中国発現宗教——日本關於中国民間信仰結社之研究」、「漢学研究与中国社会科学的推進」(浙江大学、9月27-28日)。</p> <p>④「中国人種西來說をめぐって——近代日中両国におけるラクーペリー(Terrien de Lacouperie)」、「近代東アジアにおける日本語」(関西大学、2008年10月11日)。</p> <p>⑤「表象としての中国社会」、「戦時下農村社会の比較研究」(慶応大学、12月13日)。</p> <p>⑥「黄帝自巴比倫来——拉克伯里(Lacouperie)“中国文明西來說”在東亞的伝布与文本之比較」、「近代知識的成長与媒体:東亞的視野」国際シンポジウム(復旦大学、2月27-28日)</p>		

本研究は、去年の学部長特別研究費による調査と研究を基盤に、従来の研究で使用されていない一次資料に基づいて、日本の植民地における政治支配と中国の民間宗教との関係を実証的に考察するものである。

(研究の実施方法等)本研究の特色は実証研究と言説分析を結合させる点にある。歴史的・文献的研究においては、申請者のこれまでの研究を基礎に、档案史料、回顧録、口述史料など従来使われていない大量の一次資料に基づいて、日本の植民地支配と中国の民間宗教結社との関係を実証的に分析する。言説分析においては、植民地当局の宗教統合策の言説とその実態とのズレに関する分析に重点を置き、日本の植民地支配の宗教政策の浸透状況を明らかにする。(一)文献調査。昨年は上海市と南京市の資料館で調査を行った。今年は天津市、河北省、山東省、広東省などの資料館を中心に調査を行う予定である。(二)研究事項。具体的な検討課題は次の通りである。

1、予備的考察:近代日本における国家と「類似宗教」との関係について。この部分では、日本の「類似宗教」政策およびその実施の結果などについて考察し、近代的空間の形成における両者の相互関連・相互対立の関係を解明することを目的とする。

2、満州:「満州国」における宗教結社の実態について。この部分では、日本の大本教と中国の紅卍字会との国境を越えた連携、「満州国」の国家建設のプロセスにおける宗教結社の役割、宗教結社に対する「満州国」の統合策の特徴、などの問題を検討し、宗教統合をめぐる「満州国」の政治言説と実態との関係を明らかにする。

3、華北:「東亜新秩序」における中国の民間宗教結社について。日本軍は華北地域を占領した後、「満州」に対する政治支配の経験を生かし、華北地域の宗教を甲種(既成宗教)、乙種(類似宗教)、丙種(街頭信仰)に分けて、それぞれに対して統合政策を行った。この部分では、華北地域における日本軍の支配と宗教結社との関係を具体的に解明する。

4、華南:汪兆銘政権下の民間宗教結社について。この部分では、汪兆銘政権と会道門(一貫道)との関係を中心に、華中、華南地域における日本軍の支配と宗教結社との関係を明らかにしたい。

(得られた成果等)

編著

『新史学——概念・文本・方法』(第2巻)(編著)、中華書局、2008年5月、298p.

(日本語)

「連続と断絶——二十世紀中国歴史教科書における黄帝叙述」、『中国研究月報』2008年10月号。

(中国語)

・「語言学的転変後の中国新史学」、『中国書評』2008年3月号。

・「東洋的変遷——近代中国語境里的東西洋概念」、『新史学——概念・文本・方法』第2巻、中華書局、2008年5月。

・「読蒋介石日記随感」、『南方週末』2008年6月13日。

・「近代知識“巫霽”考古——我為何提倡概念史研究?」、『中華読書報』2008年9月3日。

(韓国語)

・「差異された皮膚——日中近代教科書における人種叙述」、『大東文化研究』第64巻、2008年12月。